

「水防災意識社会再構築ビジョン」を推進するため、野洲川では平成27年12月に沿川市長、滋賀県、気象台、国で構成する野洲川地域安全懇談会を設立しました。今回、近畿地方初となる県管理区間の取組範囲の拡大、国と県が連携した上下流一体のサポート体制を構築していくことを確認しました。また、野洲川での取組内容について、沿川市長と意見交換を行いました。

概要 第3回 野洲川地域安全懇談会

- 日時：平成29年5月24日(水)10:10～12:00
○場所：野洲市総合防災センター 2階 研修室1・2
○出席者：草津市長、守山市長、栗東市長、野洲市長(座長)、湖南市長、彦根地方気象台長、滋賀国道事務所長、琵琶湖河川事務所長、滋賀県流域政策局長、近江八幡市長、甲賀市長、滋賀県技監(南部土木事務所長事務取扱)、滋賀県技監(甲賀土木事務所長事務取扱)



<今回より参照>

○ 「規約」、「野洲川の取組方針」の変更

県と国が協力し、上下流一体となって支援する枠組みを構築するため、懇談会の取組範囲を県管理区間にまで拡大し、委員の追加および取組方針の変更を行った。

谷畑 湖南市長

直轄と県区間、上下流一体となった取り組み、特に治水、水防の観点でお願いしたい。



新規委員 岩永 甲賀市長

上流側の自治体の防災上の役割は大きいと考えており、上流域の役割を果たしていきたい。



新規委員 富士谷 近江八幡市長

命と財産を守る行政の仕事のため、皆様の御力御指導を頂いて取り組んでいきたい。

○ 今後の県管理河川の取組

野洲川の外、甲賀・湖南圏域におけるその他の県管理河川も含め、本懇談会で取組をすすめていくことで合意した。

○ これまでの取組報告および今年度の取組内容

国・県・各市から、これまでの取組報告と今年度の取組内容を意見交換し、今後も各機関が連携していくことを確認した。

草津市

住民とワークショップを開催し、避難経路、危険箇所等について住民からの意見をハザードマップに反映した。



野洲市

研修会を開催し、自主防災組織のリーダーを育成し、地域の自主防災力の更なる向上を図った。

○ 地域の活性化・健康増進に寄与する河川整備



管理用通路を「ピワイチ」の「よしみちコース」として、県管理区間も含めた河川整備を行い活用するとともに、西日本のサイクリストの聖地をつなぐ構想を提案した。

琵琶湖河川事務所長



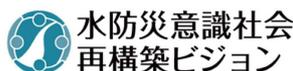
宮本 守山市長

琵琶湖から国道8号までサイクリング、ランニング等できるようになり、河川に親しめるものになっている。

野村 栗東市長

国と県の連携の効果は、防災面でも有効と考えるので、直轄と県で分けて進めていきたい。

琵琶湖河川事務所では、水防災意識の再構築に向け、沿川自治体と協力し、水害に強い地域を目指すとともに、地域振興に貢献します。



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所 調査課
077-546-0844(代表)

